

ロンドン大学  
英語音声学セミナー  
研修報告書

SUMMER COURSE



ENGLISH  
PHONETICS



University College London

大妻女子大学文学部英文学科



## ロンドン大学 英語音声学セミナーとは



- 歴史のある国際的英語教育機関です。
- 2週間にわたり、英語音声の講義と訓練を行います。
- 毎年、世界中から、数多くの学生・教員が参加します。
- クラスは少人数で、レベル別に編成されます。
- 講師は、英語音声学の専門家で、英国を代表する大学教員です。
- 参加者は、大学の近辺にある、大学直属の学生寮に滞在します。
- 場所は、ロンドン中心部にあり、観光・芸術鑑賞・ショッピングにも最適です。
- 帰国後、手続きをすれば、専門科目として認定されます。
- 英語教育・イギリス英語・英国文化に関心のある学生の皆さんの参加を募ります。



## 一日の授業の構成について



|             |              |
|-------------|--------------|
| 09:00～09:45 | 講義(発音)       |
| 09:55～10:40 | 実習(発音)       |
| 10:40～11:15 | 休み時間         |
| 11:15～12:00 | 講義(イントネーション) |
| 12:10～12:55 | 実習(イントネーション) |
| 13:00～14:00 | 昼食           |
| 14:00～14:45 | イヤードレーニング    |
| 15:00～15:45 | 特別講義(オプション)  |





英語音声学セミナーとは ..... 02

目次 ..... 03

2A 小泉葵 ..... 04

2A 小野千明 ..... 05

2A 浅見和希 ..... 06

2A 大関友香 ..... 07

2A 竹内彩乃 ..... 08

2A 中嶋えりか ..... 09

2A 筒井優里 ..... 10

2A 楠田直子 ..... 11

2A 高柳彩織 ..... 12

2B 佐藤亜美 ..... 13

2B 長岡ころろ ..... 14

2B 林裕理 ..... 15

2B 鈴木杏奈 ..... 16

3B 井林佑華 ..... 17

3B 岡本理奈 ..... 18

渡邊万里子 ..... 19





## 参加理由



1年生の時に高橋豊美先生の Pronunciation & Performance の授業を受けて、イギリス英語の発音に興味を持ったからです。

## セミナー(講義・演習)について

授業はすべて英語で行われ、有名な先生方の講義を受けられることはとても光栄でした。全体で行う講義を受けていて、最初は理解するのが難しいと感じることばかりでしたが、高橋先生が前日に翌日の講義の内容の解説をしてくださったので、自分なりに理解していくことができました。全体で行う講義の後に、少人数の日本人グループに分かれて細かい発音練習をたくさん行いました。自分が苦手な発音も担当の先生が丁寧に教えてくださいました。私たちが普段日本にいるときの授業で耳にするのはアメリカ英語が中心なので、イギリス英語とアメリカ英語の違いをすごく感じ、そしてイギリス英語を発音する難しさを痛感しました。

## College Hall (食事・寮生活一般)

寮は一人部屋だったので日々快適に過ごすことができました。そして毎朝イギリスの伝統的な English Breakfast をお腹いっぱい食べることができました。洗濯物は友達のものと一緒にまとめて洗濯機を利用して節約に励みました。イギリスは乾燥しているので洗濯物の乾く早さに驚きました。

## 滞在中、特に印象に残った事

ティーパーティでさまざまな国の人と話している機会があり、同年代のロシア人と友達になり、ロシアのゲームをするなどして異文化交流が出来たことです。



## 週末・放課後の過ごし方



週末はたっぷり時間があつたのでミュージカルを見たり、夜には夜景を見に行ったりしてさまざまな観光スポットたくさん歩いてまわりました。本場のミュージカルはすごい迫力で、鳥肌が立ってしまうほどでした。放課後は大英博物館や近場のお店を見て回り、夜高橋先生の講義が9時からあつたのであまり遠出しませんでした。





参加理由 

ロンドン大学で音声学を学ぶため。



セミナー(講義・演習)  
について

毎回授業の前日の夜に、高橋先生が日本語で予習の講義を開いてくださったので、授業は全て英語だったのが安心して臨めた。特に良かった授業は、個別授業だった。一人ひとり丁寧に発音を直してくれ、普段日本の授業で集中してできないことがしっかりできたと思う。

College Hall  
(食事・寮生活一般)

毎日朝食が出たが、ハッシュドポテトやウィンナー、ベーコン、クロワッサンなど決まったもので飽きてしまったし、日本人には少し重いと感じた。昼食と夕食は各自で準備しなければならなかったのが大変だった。部屋はベッド、机、収納、シャワールームというシンプルなものだったが、一人部屋だったので毎日しっかり休むことができた。ただし、部屋がとても乾燥していたので乾燥対策が必要だった。

滞在中、  
特に印象に残った事

ロンドン大学内でも各国の人と仲良くなり、放課後一緒にすごしたりすることができた。また、学校の外でも外国の人たちが気さくに話しかけてくれ、困ったときも手助けしてくれたことが印象的だった。街にはたくさんの花があり、建物も凄く素敵で、いたるところに博物館や美術館があり、芸術の都だなと毎日感じさせられた。



週末・放課後の過ごし方



週末は、博物館やロンドン塔、バッキンガム宮殿など平日には行けないところに行き、ロンドンや世界の歴史、自然を学ぶとともに観光を楽しんだ。放課後は、ショッピングやミュージカル鑑賞に行った。ロンドンのお店は日本のように夜遅くまで営業していなかったのが不便だった。



### 参加理由



昨年の資料を拝見し、憧れのロンドンへ行ってみたいという気持ちはもちろん、音声学を元々苦手としていたので、このセミナーを機に興味を持てればいいなと思い参加した。



### セミナー(講義・演習)について

講義はレベルの高い内容も多く含まれていたが、音声学を深く学んだことは自分にとっての英語学習に対する視野も広がり良い経験になった。多くの素晴らしい教授、先生方の講義を、各国の人々と共に受けることは本当に貴重な経験になった。講義では特に女性の教授が印象強かった。私は教職を取っているが、講義の構成やジェスチャーなど、音声学を学ぶと共にその内容でもあるイントネーションなどを十分に活用した、教え方としての英語表現を学ぶこともできた。伝統あるこのセミナーを全員が協力し合って受け継いでいるということを様々な場面で感じられ、参加してよかったなと思った。このセミナーに参加し、学んだことを無駄にせず、これからの英語学習に活かしていきたい。

### College Hall (食事・寮生活一般)

寮では同じ大学の学生はもちろん違う大学や他国の人々と触れ合うことができる場でもあった。朝食は伝統あるイングリッシュ・ブレックファストでとても美味しかった。寮近辺のスーパーマーケットで買い出しをするなど食生活の不便もなく充実した生活を送ることができた。



### 滞在中、特に印象に残った事

ロンドンの街並みや建造物が本当に美しく、素敵だった。それだけでなく、バスの乗り換えがわからない時、助けてくれるなど親切な人が多かった。UCL のお別れ会やティーパーティでも多くの出会いがあり、有意義で楽しい時間を過ごすことができた。



### 週末・放課後の過ごし方



放課後は買い物や寮近辺にある観光地へ出かけた。夜に講義の予習の時間を設けていただいたことで、難しい内容も理解しやすかった。週末は、バッキンガム宮殿やロンドン塔などの様々な観光地を巡ることができ、イギリスの伝統・文化を体感した。その他にも屋外のミュージカルや本場のミュージカルも見ることができた。



## 参加理由

一度海外へ行ってみたいと思っていたからと、私は発音が上手くできないしイントネーションもよく分からないのでこのコースに参加してそれを学んでみたいと思ったからである。

## セミナー(講義・演習)について

日本とは違い、授業時間が短いのでドラドラせずメリハリをつけて発音・イントネーションを学べた。最初は全ての英語を聞き取るのは大変だったが、慣れて来るにつれて意味は分からなくても文の切れ目は分かったし、毎晩高橋先生が次の日の予習をしてくれるので早く理解することが出来た。演習では、出来ない発音を出来るまで何度も何度も繰り返しやったので忘れないで出来たし、同じ事を何度もやるので集中して勉強できた。

## College Hall (食事・寮生活一般)

寮というものの自体に泊まるのは初めてのことだったが、同じ階にみんながいたので安心して過ごせた。部屋も狭くもなく、必要なものは或る程度揃っていたので毎日の生活に困ることは無かった。部屋からはロンドンアイや夜景がきれいに見られたのでよく見ていた。朝食は最初脂っこい印象があったが、毎日おいしく食べられた。食べたいのを取ってもらうのは初め緊張したけど、段々笑顔で言うことも出来たし、相手が笑顔で言ってくれたときはとても嬉しかった。



## 滞在中、特に印象に残った事

信号が赤でも多くの人が渡ってたり、雨が降っていても傘を差している人がほとんどいないことである。最初に戸惑ったことは、日本でいう一階がイギリスでは ground に成ることである。でも日本と違っているのはおもしろいと感じた。



## 週末・放課後の過ごし方



放課後や週末は友達と2人でロンドンの街を歩き回った。主にピカデリーやオックスフォードサーカス周辺に行った。ある日はウォーターlooーまで歩いてビックベンを見たりもした。一日歩いている方が多かったので疲れるが、ロンドンの町並みをゆっくり見られたし新たな発見もあったから歩いてよかったなと思った。金曜日にはミュージカルも見に行った。初めてミュージカルを見たので新鮮だったし、

全編英語でもストーリーが理解できたので最後まで楽しめた。





### 参加理由



去年の発音の授業が楽しくて好きで、イギリスに行って生の英語を聞きながら音声学をやりたいという興味を持ったから。

### セミナー(講義・演習)について

イギリス英語に慣れていなかったので初めは聞き取りが難しく講義に不安があった。また講義中に周りの人が笑っている中で自分は笑えなくて悔しい思いもした。しかし毎晩の高橋先生の予習のおかげで、講義により興味を持って取り組めるようになった。最後にはクイズに答えることができてとても嬉しかった。少人数のレッスンでは担当の先生に間違った発音を直していただいた。時間をかけて一人一人を見てくださったので、自分の発音を見直す良いきっかけとなった。日本ではなかなかやってもらえない内容の濃い授業を体験することができたと思う。

### College Hall (食事・寮生活一般)

朝食は寮で、昼食・夕食は近くのスーパーやお店に入って食べた。寮の一人部屋はちょうどいい広さでゆったりできた。夜は友達と話したり、ピアノをやったり楽しく過ごすことができた。最終日にいつも朝食を準備してくれている寮の人から「ロンドンは楽しかった?これからも頑張ってるね」と声をかけていただいて嬉しかった。

### 滞在中、特に印象に残った事

ライトアップされたビッグ・ベンやロンドンアイがとてもきれいで感動した。また行ってみたかった世界遺産を訪れ、自分の目で見るのができ心に残っている。



### 週末・放課後の過ごし方



土日は時間がたっぷりあったので、地下鉄に乗って遠くへ行き、ショッピングや観光地を訪れてロンドンを満喫した。日が暮れるのが遅かったので放課後も出かける時間は多くあり、ミュージカルやロンドンの夜景を見に行くことができた。イギリスではどこにいても歴史や文化を感じることができ、特に博物館や美術館では有意義な時間を過ごすことができた。外に出れば英語を話す機会がたくさんあり、自分の英語が伝わったときはとても嬉しかった。



参加理由

1年生のときに発音の授業を受けて興味を持ち、もっと学んでみたいと思ったから。



セミナー(講義・演習)について

ネイティブスピーカーの先生がイギリス英語の発音を丁寧に教えてくれたのが非常に良かった。口の開き方や舌の位置など、日本語の会話では使わないような動きをするので、難しいと感じることが多かった。また、英語の会話を滑らかに発音する練習を行なったときは、私が予想していた発音と先生から聞こえてくる発音が全く異なり驚いたが、先生の口の動きや音に注目して自分もそれを真似るのが自分にとっては面白かったと感じるとともにすごく新鮮な気分であった。講義も全て英語で行われたが前日に高橋先生が翌日の講義の内容を解説してくれたので、内容が全くわからず混乱するといったことは無かった。

College Hall  
(食事・寮生活一般)

だいたい食事のメニューが決まっていたが、私にとってはオイリーなものが多かったように感じたので持参した胃薬を飲んで過ごしていた。周りの人たちも日数が経つにつれて食事の量が減っている人の方が多かった。部屋は各個人に一部屋与えられたので快適に過ごすことができた。

滞在中、特に印象に残った事

日が沈むのがとても遅く、夜の9時前まで明るかったので時間の感覚が少しおかしく感じるがあった。また、気候は曇りがほとんどで、寒く感じた。交通に関しては、東京と同じくらいに便利だと感じた。地下鉄に関しては3分おきに電車がくるので心配する必要は無かった。また、地下鉄に乗らなくても歩いて行けるので、目的地まで街並みを楽しみながら歩いて行くことができた。



週末・放課後の過ごし方



平日は、午後6時に閉まってしまう店が多かったので電車に乗ってすぐに行ける場所へ行って買い物等をした。週末は少し遠くへ出かけたりしてゆっくり過ごした。



参加  
理由



以前から自分の発音を気にしていたのですが、どう直してよいのかわからずに、悩んでいました。そんな時に現地で音声学を学べると聞いたので、迷わず応募しました。

セミナー(講義・演習)  
について

合同の授業で教科書を使って学んだ後に、その内容をグループレッスンで練習したので、理解が深まりました。毎日新しいことをやるので、授業がとても楽しみでした。先生は細かい発音の違いなどもしっかり指摘してくださり、厳しくもとても優しい先生でした。先生のことが大好きになり、また授業を受けたいと思いました。

College Hall  
(食事・寮生活一般)

部屋は、落ち着く空間でとても過ごしやすかったです。机は広く、ベッドもふかふかでした。週に何度か係の方が掃除をし、バスタオルを取り換えてくれました。

朝食は伝統的な English Breakfast でバイキング形式になっていました。すごくおいしかったので、つい食べ過ぎてしまいました。

滞在中、  
特に印象に残った事

街中を迷っていると、声をかけてくれる人がたくさんいました。地図を書いてくれたり、一緒にバスに乗って目的地まで連れて行ってくれたり、現地の方にとっても親切にもらったことがとても印象的です。



週末・放課後の過ごし方



主に観光をしていました。私が大好きなハリリーポッターや、ピーターパンのロケ地を巡り、ウィリアムとケイトが挙式した場所へも行きました。訪れたレストランでは店員さんと話している間に仲良くなり、現地のことをいろいろ教えてもらいました。始めて見るものばかりで、毎日が充実していました。





## 参加理由

私はこれまで海外に行ったことがなく、行ってみたいと思っていたし、本場のイギリス英語を体感し、少しでも話せるようになりたいと思ったので参加しました。

## セミナー(講義・演習)について

初めは、すべて英語で行われる授業についていけるか不安でした。でも、夜9時から行われる高橋先生の予習や日本人バックアップの授業のおかげで少しずつ分かるようになりました。授業は広い教室での講義と、少人数での実践練習が交互にありました。少人数でのクラスでは、一人ひとり丁寧に先生にみていただけたので、とてもよかったです。2週間授業を受けて、だんだん耳が慣れてきたのか聞き取れるようになっていったのがうれしかったです。

## College Hall (食事・寮生活一般)

寮生活は、私が想像していたよりも快適なものでした。一人部屋で、トイレもシャワーもついているし、シートもバスタオルも3日か4日に一度は交換してありました。また、College Hallは、ロンドン大学や大英博物館に近だけでなく、ロンドンの中心にあったので、授業が終わった後も歩いたり、地下鉄に乗ったりして様々なところに行くことができました。初めての寮生活で、そのうえ海外だったので不安はありましたが、なにも困ることなく快適でとてもよかったです。

## 滞在中、特に印象に残った事

ロンドンでは、hello や thank you を笑顔で言う大切さを実感しました。お店に入る時や、レジの店員さんに笑顔で hello と言ったり、thank you というだけで、とても笑顔で迎えてくれたし、そこで会話が始めたりしました。たまたま目があつたときもみんな笑顔を返してくれるので、とてもあたたかい気持ちになれました。



## 週末・放課後の過ごし方



週末や、放課後は友達と大英博物館やビッグベン、ウエストミンスター寺院に行ったり、ショッピングに行ったり、ミュージカルを見に行ったりしました。ロンドン内をほとんど歩いて回れたので、ロンドン市内のことがよくわかったのがよかったです。



### 参加理由



授業や普段の生活の中では、なかなか触れることの少ない本物の British English に触れたいと思ったのがきっかけです。同時に、セミナーを受講することによって、自らのリスニングスキルを鍛えたいという気持ちで参加しました。また、歴史のある街ロンドンで過ごすことで、何か得るものがあるのではないかという期待がありました。

### セミナー（講義・演習）について

授業は専門的な内容のものが多く、聞きなれない British English がずんわりと耳に入ってこなかったりと、最初は少し戸惑い悩む場面もありましたが、一週間が過ぎ、次第に耳が慣れるにつれて、講義や演習が楽しくなりました。私は特に演習の授業が好きで、とても興味深く、また楽しく勉強することが出来ました。British English を意識して発音することは、大変でしたが、間違っていた認識が正されたり、新しいことや、これまで気がつかなかったことなどを知ることができ、自分にとってプラスになりました。授業以外の時間にも、演習の先生との会話などでも、沢山の事を学ぶことができ、大変有意義でした。

### College Hall (食事・寮生活一般)

部屋はとても綺麗で、施設も不自由な点が無く、大変過ごしやすいかったです。朝食も、温かい料理を口にすることが出来て、満足でした。同行した友達と、部屋の行き来をすることが多く、これまで以上に仲良くなることが出来ました。残念だったのは、Wi-Fi 環境がロビー周辺に限られていたことで、出来れば自室でもネットが使えれば、便利だったと思いました。

### 滞在中、特に印象に残った事

全体的に日本人とイギリス人は寡黙でまじめという部分で、共通点があると感じました。英国は女王の国であり、長い歴史を正在していることを実感しました。



### 週末・放課後の過ごし方



ロンドンでなくては体験できないこと、歴史を体感できることに、積極的に時間を費やしました。週末は「ウイキッド」などの舞台を観に行ったり、市街から少し離れた観光名所を巡ったりしました。放課後は、歩いて寮まで帰れる距離の観光名所や大英博物館に行ったりし、ロンドンを十分に楽しむことが出来ました。



# 参加理由

本場のイギリス英語が聞いてみたかったから。自らの英語の発音に磨きをかけたかったから。

## セミナー(講義・演習)について

講義の内容について印象に残っている事は、intonation を上手く使いこなすことができれば私たちの英語はよりネイティブに近いものになることが可能だということ。発音ばかりを気にしていたので、この事実はとても衝撃的だった。少人数編成の演習クラスではその日に行われた講義の復習をし、わからなかった部分を先生にどんどん聞くことができた。特に Pronunciation のクラスでは先生が生徒一人一人の単語の発音を聞いてまわり、間違っていたらその場で舌の動きや唇の噛み方などを一から直してくれたので大変勉強になった。又、ずっと曖昧にしていた母音の発音を理解することができた。

## College Hall (食事・寮生活一般)

College Hallの部屋はバス・トイレ付で机もあり、大変適

ごしやすかった。朝ご飯はホテルの人に頼んで皿に盛ってもらうバイキング形式。朝からつたない英語でマッシュポテトを2つ頼んだはずなのに、3つ来たときには少し凹んだ。料理はとてもおいしかった。

## 滞在中、特に印象に残った事

道に迷った時、現地の人から話しかけてくれて道を教えてくれたこと。なかなか日本人にはできないことだと思った。



## 週末・放課後の過ごし方



せっかくロンドンに来たのだから時間を無駄にしないようにとにかく街中を歩きつくした。一番印象に残っているのは帰国前日に友人たちと Queens Theatre にミュージカル、レ・ミゼラブルを観に行ったこと。歌がとにかく凄く、私は涙した。劇が凄いのはもちろんだが、チケットを購入するため現地のスタッフに交渉したり、劇後のスタンディング・オーベーションなど日本では経験できないことばかりで、本当にワクワクドキドキした。





参加  
理由



このプログラムに参加し、イギリスの音声学を学んで肌で感じたいと思った。これまでイギリスへ行った経験がなかったので、母国である日本とは異なる国の文化や雰囲気を経験し、自分の世界観を広げられた。英語圏に滞在、生活し、有名な先生方の講義を受講し、自らの知識を広げ、今後の英語学習に活かしたいと思った。

セミナー(講義・演習)  
について

演習では失敗を恐れずに、むしろ間違いを指摘してもらい、先生のアドバイスを参考に自分なりに練習し、積極的に習得しようと努力し、一緒にプログラムに参加した友達と協力して発音練習をすることが習慣化し、楽しくなりました。講義内容や演習内容はとても内容が濃く、有意義な学習となりました。先生方はとても親切で、フレンドリーに接してくださったので気軽に疑問点を訪ねることができました。

College Hall  
(食事・寮生活一般)

寮の中には外国の幅広い年代の方もいて、朝ご飯を食べる食堂や、ラウンジでは挨拶や会話をして英語圏に限らず他国の方の話を通して異文化を知る機会も得ることが出来ました。朝ご飯は English Breakfast でとてもおいしくお腹一杯食べることが出来ました。昼食、夜食はよくスーパーで調達していました。

滞在中、  
特に印象に残った事

現地の方はとても親切な方ばかりで、道に迷った時、道を尋ねると丁寧に應對してくれました。道を尋ねたり、お礼を言う基本的な言葉などは想定して事前に準備しておくとういいます。特に感謝の気持ちをもっと上手に伝えたら!と悔しく思うことが多くありました。また、外国の方と会話をする際、自分自身のことも含めて母国についての理解が外国の方に比べ自分は浅いことを痛感しました。会話の話題の量もそれらのために少ないのだと気づきました。外国の方は母国だけでなく日本のことも詳しく世界への関心の強さがとても伝わってきました。日頃から視野を広く持つことが大事だと感じました。



週末・放課後の過ごし方



多少疲れていても時間があれば観光をしました。移動の際の地下鉄やバスの使用や、道に迷うことの行動の延長線に現地の方々との交流が多くあり、辞書を持ち歩いて表現に困った時はすぐに調べて状況に対応していました。観光はあらかじめ訪れたい場所を絞っておくといと思います。研修期間中は長いようであつという間でした。



## 参加理由

入学以前からこのセミナーを知り興味を持っていた。一年次に習った音声学の知識をもっと深めたかったのと自己の発音を向上させる良い機会になると感じたから。留学経験がなかったので、興味のあるプログラムがある今回のセミナーを通して留学を体験してみようと思い至った。

## セミナー(講義・演習)について

実際の講義を聞いて理解できる範囲は限られたが、高橋先生の前日の予習のおかげで大分助けられた。High Fall や Low Rise の読み方の実践は興味深かった。今まで深く意識して語尾を上げ下げしていなかったので、意味が全く変わってくるという意識を今後心掛けたい。

## College Hall (食事・寮生活一般)

基本メニューは大きく変わらなかったが、量も結構あり味も良かったので飽きなかった。日本食と本場のEnglish Breakfastの違いを、実際に食べて感じるができ良い機会になった。

## 滞在中、特に印象に残った事

予約していた屋外でのミュージカルが雨で中止になってしまったのがとても残念であった。序盤のところで中断されてしまい、先が気になったまま終わってしまったので、いつかりベンジしたいと思う。しかし最後の夜に、個人で予約を取っていた「Les Miserables」の舞台を観賞できたのはとても印象に残った。ミュージカル自体が初めてのこともあり、歌の一つ一つに迫力と壮大さを感じられ、とても魅了された。



## 週末・放課後の過ごし方



基本、毎日どこかには出掛けるようにしていた。せっかくの機会なのでできるだけ時間を有意義に使おうとした。週末はやはり放課後には行けない様な遠出の場所に訪れていた。ロンドンアイの夜景を見れたことがとても印象強い。ライトアップされた景色が川に反

射し映し出されていて美しかった。やはり向こうの建築物は見ていて素晴らしかった。



## 参加理由



在学中に海外に行きたかったことと、一年次で履修した発音の授業で音声学に興味を持ったため。プログラムの内容が充実していたため。

## セミナー(講義・演習)について

講義の内容は自分の知っていることと新しいことが織り交ざっており分かりやすく、理論は確実に身についたと思います。前日の高橋先生のレクチャーは内容を理解するのにとても役に立ちました。演習の授業は学校の課外英語プログラムのようなものでした。ただ先生の発音はイギリス英語でなおかつとても速かったので、かなりやりごたえがありました。最初投げ出したくなるくらいわからなかったのですが、最後のほうは大方言葉の切れ目がわかってきたので少しは進歩したと思います。

## College Hall (食事・寮生活一般)

とても過ごしやすかったです。部屋の設備も綺麗で湯沸し器があったのが嬉しかったです。朝食は少しヘビーでしたが、美味しかったので毎日楽しみにしていました。昼夜はほぼ近くのスーパーで済ませていました。

## 滞在中、特に印象に残った事

講義や町の人々の発音を聞いて、今まで私たちが習ってきたのはアメリカ英語だったのだ、と痛感しました。演習のクラスの時に何回も r を発音して直されました。Can をカンと発音するのもいつまでたっても慣れませんでした。最初本当に聞き取れなくて発音もできなかったのが初日から泣きくなりました。でもとても勉強になりました。



## 週末・放課後の過ごし方



放課後はあまり観光できないだろう、と思っていましたが、地下鉄もバスも慣れればとても便利で夜遅くまで動いているので毎日のように観光しました。水族館やロンドン塔など、混みそうなところは休日朝早くから行って並びました。週末はレクチャーもないので、夜遅くまで遊びまわっていました。





# 参加理由

1年次に受けた Pronunciation & Performance の授業で英語の音声についての勉強に興味をもったため

## セミナー(講義・演習)について

講義には多くの国籍の人々が参加していて、年齢もばらばらだったため、自分が日本人としてイギリス英語を話すときの特徴や注意すべき点を再認識できた。講義の雰囲気もわたしが普段大学でできているものとは違い、当たり前なことだが講義中は寝ない、とか、積極的に前に座る、ということがいちいち新鮮だった。そこにいる全員が学びたいと思わずわざわざお金をかけて参加したセミナーにいる、ということを実感しながら勉強することができたと思う。全員が同じ講義室で講義を受ける時間と、グループに分かれて受ける時間とあり、講義できいたことをグループ内ですぐに実践できるということもよかった。

## College Hall (食事・寮生活一般)

朝食が毎日かならずとべられるというのは金銭的にとても助かった。ほぼ同じでしかもふだん朝食としてたべないようなものが多かったが、日数を重ねるとだんだん身体も慣れてきたし、生活リズムを保つことができた。

## 滞在中、特に印象に残った事

日曜日のロンドンでは、夕方になるとほとんどの店が閉まってしまう、スーパーでさえ開いていなくて、まちが本当に静かになって驚いたことが印象に残っている。



## 週末・放課後の過ごし方



週末はロンドンからでて列車で 1 時間ほど遠くへ行ったらぜんぜん違った雰囲気で驚いた。ロンドン市内にもでかける場所は山ほどあり、計画していかなければ滞在中に行きたい場所にはぜんぶまわれないのではないかなと思うくらいだった。講義が終わってから放課後も時間があるので、平日にいける近場の観光地もたくさんチェックしていったが、初日の講義がすべておわるとびっくりするほど疲労

困憊していて、慣れないうちは一日に講義をうけてさらに遊びにくというのが難しかった。夜には予習をしていただき、集中しないうちで次の日の授業がまるので、講義が終わったらずまず昼寝をしたりして頭を休めた。

## 参加理由

音声学に興味があったことと、以前からロンドンに行ってみたいと思っていたので参加しました。

## セミナー(講義・演習)について

講義はすべて英語で行われるので初めは不安でしたが、高橋先生が前日の夜に予習を行ってくださったので、翌日の講義では英語をすべて聞き取れなくてもおおまかに理解することができました。演習の時間は、少人数クラスで発音やイントネーションの練習を行いました。先生はいろいろな方法を使って、私たちが理解できるまでとても熱心に教えてくれました。

## College Hall (食事・寮生活一般)

寮はトイレ、シャワー付きの個室でした。机も大きく収納もたくさんありました。ハウスキーパーがベッドメイキングやタオル交換、ゴミ捨てを行ってくれたので、とても快適に過ごすことができました。朝食は付いていたのですが、昼食と夕食は付いていなかったの、外で食べたり、近くのスーパーで食材を買ったりしていました。学校の近くには日本食のお店もいくつかあるので、日本食を食べたくなった時は何度か利用しました。

## 滞在中、特に印象に残った事

研修最後の日のフェアウェルパーティーで、先生とクラスメートで歌を練習してみんなの前で発表したことがとても印象に残っています。みんなの前で歌うのはとても緊張しましたが楽しむことができました。今でもその歌を聞くと、ロンドンで過ごした日々を思い出します。とても良い思い出になりました。



## 週末・放課後の過ごし方



街中にはあらゆるところに地図があるので、わりと迷わずに目的地へ行くことができました。地下鉄も、一駅、二駅分は簡単に歩くことができます。放課後はミュージカルを観に行ったり、博物館へ行ったり、買い物したり、ビッグベンやロンドン塔を始めとする、さまざまな観光スポットへも行きました。週末にはバッキンガム宮殿で衛兵交代式を見たり、少し遠出して世界遺産であるパースへ行ったりもしました。公園でゆっくり過ごすのもなかなか良いものでした。



参加理由 

村上先生が勧めてくださり、このような機会に恵まれることはなかなかないので、ぜひ参加したいと思いました。

セミナー(講義・演習)について

音声学は初めてでしたが講義はとてもわかりやすく、かなり勉強になりました。特にイントネーションを学べたことは収穫でした。発音やリスニング力を自分で磨いていく力が付いたと思います。トレーニングのクラスは、主に直前の講義内容に関する質問、発音練習、プリント演習、ディクテーション等をし、講義で得た知識の定着に役立ちました。午後の Ear Training も先生が細かく指導くださり、毎日上達していく実感がありました。2週間で学ぶには多すぎると思うくらい内容が充実していて、その分満足感も大きいですし、やる気も刺激されました。

College Hall  
(食事・寮生活一般)

寮は学校の目の前で、またロンドンの中心部でもあり、通学にも観光にも最高のロケーションでした。設備も整っており快適で、毎朝English breakfastが食べられて、とても良かったです。いろいろな国の旅行者が多く宿泊しており、時々朝食時に会話を楽しむこともできました。



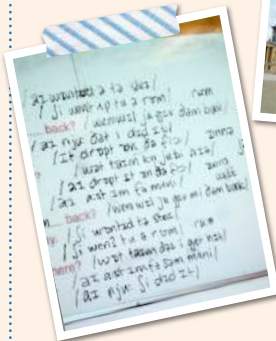
週末・放課後の過ごし方



放課後は UCL 企画の Social Events の、大学周辺地区のガイド付きウォーク、ミュージカル、クラシックコンサートに参加しました。セミナー参加者たちと交流する機会にもなり、金額もリーズナブルで良かったです。たくさんある博物館や美術館もまわりました。週末はバッキンガム宮殿を見学したり、コッツウォルズや湖水地方へも足を伸ばしました。

滞在中、特に印象に残った事

イギリスには会話の文化がある、という印象を強く持ちました。どこへ行っても人々がお喋りを楽しんでいる光景が見られ、特に男性たちがよく喋ること、食事やお酒を楽しんでいる男性だけのグループが多かったことは、興味深かったです。これまでに訪れたヨーロッパやアメリカの都市と比較して、理由はわかりませんが、ロンドンはとても居心地よく感じられました。







\* 発行者 大妻女子大学文学部英文学科

\* 発行日 2014年2月1日(第1版)

\* 企画者 英文学科 留学支援委員会

